

Canon フラットベッドスキャナ用ソフトウェア

# ScanGear Toolbox CS

スキャンギア ツールボックス CS

for Windows

## ユーザーズガイド



# 目次

ScanGear Toolbox CSについて .....	4
ScanGear Toolbox CSのインストール .....	5
ScanGear Toolbox CS が動作する環境.....	5
インストール / アンインストール(削除).....	5
ScanGear Toolbox CSの起動と終了 .....	8
起動 .....	8
終了 .....	11
ScanGear Toolbox CSを使うための準備.....	12
ScanGear Toolbox CS ツールバーの機能.....	12
リンクできるドライバとアプリケーション .....	13
ファックス送信.....	13
メール送信 .....	13
コピー .....	14
カスタム 1 ~ 3 .....	14
各タブでの設定 .....	15
環境設定タブでの初期設定 .....	20
フィルムアダプタユニット使用時の設定 .....	21
ScanGear Toolbox CSを使用する .....	22
ファックス送信の動作.....	24
メール送信の動作 .....	24

コピーの動作 .....	25
保存の動作 .....	27
カスタム 1 ~ 3 の動作 .....	27
ツールバーを表示せずに ScanGear Toolbox CS を使うには .....	29
ScanGear Toolbox CS の設定項目 / 内容の一覧 .....	31
付録	
スキャナのスタートボタンを設定するには .....	33
索引 .....	35

## 画面例について

本マニュアルでの画面例は、Windows 98 のものを使用しています。その他の Windows をご利用の場合、本マニュアルでの画面例と異なる表示がされることがあります。

## 商標について

Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。

その他、本マニュアルに記載されている記載されている社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

# ScanGear Toolbox CSについて

ScanGear Toolbox CSは、TWAIN対応のアプリケーションなどを起動することなく、簡単にスキャナを利用して、ファックス送信や、プリンタへのコピー機能を行うためのユーティリティソフトです。

また、ScanGear Toolbox CSにアプリケーションソフトを割り付けることで、画像のスキャン、アプリケーションソフトの起動、そのアプリケーションへの取り込み画像の引き渡しを、一度のクリック操作で行うこともできます。

前面にスタートボタンの付いているスキャナをお使いの場合は、スタートボタンを押すだけで起動できますので、便利です。

フィルムアダプタユニットの設定と使用方法は [P.21](#) をご参照ください。

# ScanGear Toolbox CSのインストール

## ScanGear Toolbox CS が動作する環境

ScanGear Toolbox CS は、以下の環境で動作します。

対応 OS : Windows 95、Windows 98、Windows NT Workstation 4.0、  
Windows 2000 Professional

## インストール/アンインストール(削除)

ここでは、スキャナに付属のキヤノスキャンセットアップ CD-ROM を使ったインストール方法を説明します。

ダウンロードサービスで入手された ScanGear Toolbox CS のインストール方法については、ダウンロードサービスの説明をご覧ください。

Windows NT Workstation 4.0、Windows 2000 Professionalでのインストール、アンインストールは、必ず Administrator でログオンして行ってください。

ScanGear Toolbox CS をインストールする前に、TWAIN ドライバとプリンタのドライバをインストールすることを推奨します。

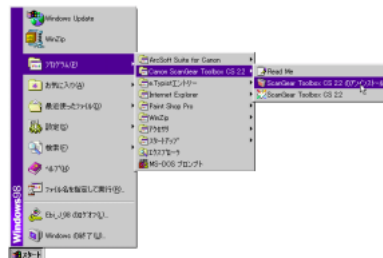
## インストール

スキャナに付属の「スタートガイド」にしたがって、すでに ScanGear Toolbox CS 2.2 をインストールしてある場合は、以下の手順は必要ありません。

1. スキャナに付属している「キヤノスキャンセットアップ CD-ROM」を CD-ROM ドライブに入れます。
2. CD-ROM のメインメニューで、[ソフトウェアのインストール] をクリックします。
3. [ソフトウェアのインストール]画面の[ScanGear Toolbox CS 2.2 ]のチェックボックスがチェックされていることを確認します。チェックされていない場合は、クリックしてチェックします。
4. [インストールを開始する]をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。インストールが実行されます。インストールが完了すると、ScanGear Toolbox CS 2.2 が Windows の [スタート] メニューに追加されます。

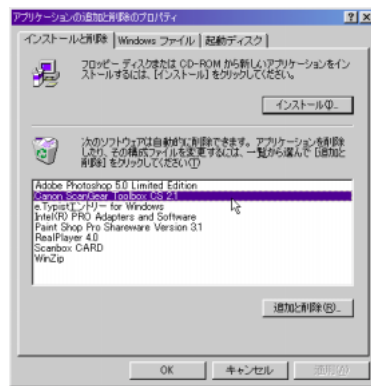
## アンインストール(削除)

スタートメニューからのアンインストール  
Windows の[スタート] [プログラム] [Canon ScanGear Toolbox CS 2.2] で[ScanGear Toolbox CS 2.2 のアンインストール]をクリックして削除できます。



アプリケーションの追加と削除のプロパティを使うアンインストール

1. [スタート] - [設定] - [コントロールパネル]をクリックし、コントロールパネルを開きます。
2. [アプリケーションの追加と削除]を選択します。
3. [Canon ScanGear Toolbox CS 2.2]を選択し、**追加と削除** ボタン (Windows 98 などの場合) または **変更 / 削除** ボタン (Windows 2000 の場合) をクリックします。  
その後、表示されるメッセージにしたがって操作してください。



# ScanGear Toolbox CSの起動と終了

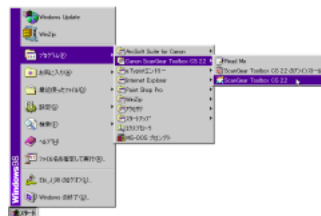
## 起動


### スタートボタンからの起動

スキャナ前面のスタートボタンを押します。パソコン側で ScanGear Toolbox CS が起動します(ただし、P.29 での設定で、「スキャナボタンが押されたときの動作」に「ツールバーの表示」が設定されているときに限ります)。

### マニュアルでの起動

Windows の[スタート] [プログラム] [Canon ScanGear Toolbox CS 2.2] で[ScanGear Toolbox CS 2.2]をクリックします。



上のどちらの方法で起動させても、画面には ScanGear Toolbox CS ツールバー ( P.9 ) が表示されます。また、画面右下の時刻表示の側に ScanGear Toolbox CSのショートカットボタン(  14:07 )が表示されます。スタートボタンが付いていないスキャナの場合は、マニュアルで起動してください。



## ScanGear Toolbox CS ツールバーの利用

ScanGear Toolbox CS を起動すると、ScanGear Toolbox CS ツールバーが表示されます。キヤノスキャン セットアップ CD-ROM を使ってインストールすると、同時にインストールしたアプリケーションソフトが自動的にツールバーのボタンに登録されます。下の例では、ファックス送信、メール送信、コピー、保存のほかに、Arcsoft PhotoStudio 2000、メディアドライブ e.Typist エントリー、Arcsoft PhotoBase をボタンに登録しています。このボタンをクリックするだけで、それぞれの機能が使用できます。

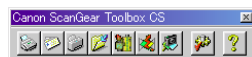
### ツールバー大



### ツールバー中



### ツールバー小



ツールバーの大 / 中 / 小の設定は、環境設定タブ (P.20) で行います。

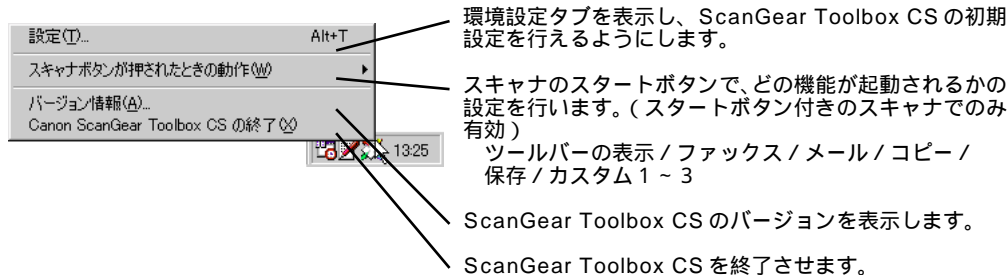
## ショートカットボタンの利用

(1) マウスの左ボタンのクリックによるもの  
画面右下のショートカットボタンを左クリックして、右のポップアップメニューから使いたい機能を選択しても、ScanGear Toolbox CS を使用することができます。




(2) マウスの左ボタンのダブルクリックによるもの  
ショートカットボタンで左ボタンをダブルクリックすると、ScanGear Toolbox CS ツールバーが表示されます。


(3) マウスの右ボタンのクリックによるもの  
ショートカットボタンを右クリックすると、次のポップアップメニューが表示されます。

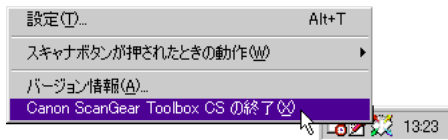


## 終了

ScanGear Toolbox CS ツールバーを消すには  
ScanGear Toolbox CS ツールバー右上のクローズボックス(  )をクリック  
します。ツールバーが消えます。

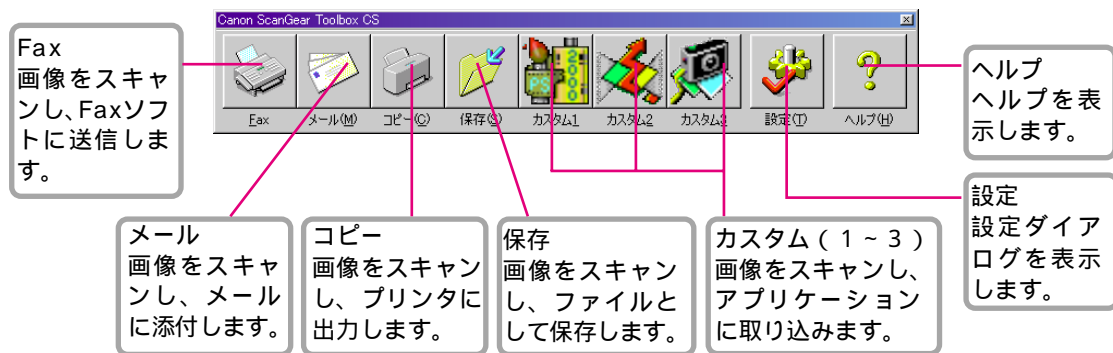
この状態では、ScanGear Toolbox CS は終了していません。

ScanGear Toolbox CS を終了させるには  
画面右下の時計表示の左側にある、  
ScanGear Toolbox CS のショート  
カットアイコン(  14:07 )を右クリッ  
クしてポップアップメニューを表示  
させ、[Canon ScanGear Toolbox  
CS の終了]を選びます。ScanGear  
Toolbox CS が終了します。このと  
き、ツールバーが表示されていれば、  
ツールバーの表示も消えます。



# ScanGear Toolbox CSを使うための準備

## ScanGear Toolbox CS ツールバーの機能



上記のようにボタンが表示され、各機能を使うには、次の条件が必要です。

**F a x** : Fax モデムが接続され、Fax ソフトがインストールされていること。

**メール** : MAPI ( p.13 ) 対応のメールソフトがインストールされていること。

**コピー** : プリンタが接続され、適切なドライバがインストールされていること。

**カスタム ( 1 ~ 3 )** : キヤノスキャンセットアップCD - ROMで、すべてのアプリケーションをインストールした場合、バンドルされているアプリケーションが登録されます。

## リンクできるドライバとアプリケーション

ファックス送信、コピー、メール送信の各機能で使用するドライバ、アプリケーションを変更することもできます。

また、[設定]ボタンにより、カスタム1～カスタム3のそれぞれに、アプリケーションソフトを割り当てることができます。

このとき、各ドライバ、アプリケーションは、次のようなものでなくてはなりません。

### ファックス送信

ファックス送信ではプリンタドライバや、Microsoft Outlook 98、Microsoft Outlook 2000、その他の市販のファックスソフトをリンクできます。

### メール送信

ScanGear Toolbox CS にリンクするメールアプリケーションは、MAPI 対応でなければなりません。Microsoft Outlook、Microsoft Exchange、その他の市販のメールソフトをリンクできます。

MAPI とは Messaging Application Programming Interface の略で、電子メールアプリケーションの業界標準です。

## コピー

コピーではプリンタドライバをリンクできます。[スタート]-[設定]-[プリンタ]で参照できるもののことです。

使用しているコンピュータに2台以上のプリンタが接続されているときなどは、切り替えて使用することができます。ローカルプリンタ、ネットワークプリンタのいずれも使用できます。

## カスタム1～3

TWAIN 対応のアプリケーションソフトをリンクできます。これにより、画像のスキャン、アプリケーションソフトの起動、そのアプリケーションへの取り込み画像の引き渡しを、一度のクリック操作で行うことができるようになります。

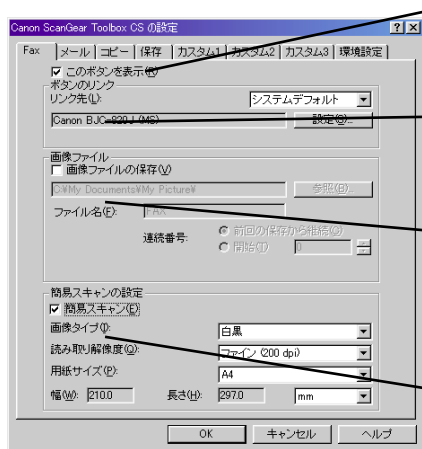
通常、キヤノスキャンセットアップCD-ROMですべてのアプリケーションソフトをインストールした場合、カスタム1～3には、これらのソフトが登録されます。

各機能に引き渡せる画像は、カラー24ビット、グレースケール8ビット、白黒1ビットのみです。カラー36ビット/42ビット、グレースケール12ビット/14ビットには対応していません。

## 各タブでの設定

ScanGear Toolbox バーの設定ボタンをクリックすると、ファックス送信、コピー、メール送信、保存、カスタム1～3の各タブにドライバ、アプリケーションを設定して、これらのボタンをScanGear Toolbox CSで使用できるようになります。また、その際にスキャンについての設定も個々に行います。

### ファックス送信の設定タブ



[Alt]キーと[F]キーでこのダイアログを表示します。

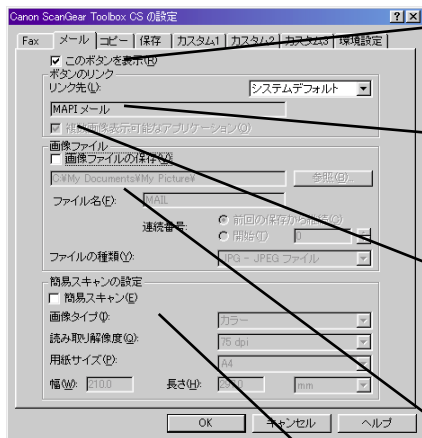
このボタンを表示  
このチェックボックスをチェックすると、ScanGear Toolbox CSツールバーに機能のボタンが表示され、その機能が使用できるようになります。

リンク先  
使用するドライバを登録しておきます。[システムデフォルト]が選択されているときは、「通常使うプリンタに設定」されているドライバに出力されます。

画像ファイルの保存  
スキャンによって得られたイメージをファイルにも保存しておくかどうかを設定します。チェックボックスをチェックして、保存に設定すると、そのファイルを保存しておくフォルダ、ファイル名の付け方(元になる名前とその後ろに付ける番号の振り方)を設定します。

簡易スキャンの設定  
簡易スキャンのオン/オフと、簡易スキャンがオンの場合に有効な設定(画像タイプ、読み取り解像度、用紙(原稿)サイズ)を、あらかじめ登録されたものから選択して設定します。「ScanGear Toolbox CSの設定項目/内容の一覧」を参照してください。なお、用紙サイズはカスタム設定も行えます。

## メール送信の設定タブ



このボタンを表示  
このチェックボックスをチェックすると、ScanGear Toolbox CS ツールバーに機能のボタンが表示され、その機能が使用できるようになります。

リンク先  
使用するメールアプリケーションを登録しておきます。リンク先の選択は、必ず「システムデフォルト」とします。MAPI対応のメールアプリケーション(システムに1つだけ存在するもの)に自動的にリンクされます。

複数画像表示可能なアプリケーション  
設定したアプリケーションが複数の画像を開くことができる場合は、このチェックボックスをチェックします。ADFを使用しているとき、複数の画像を一括してアプリケーションで開きます。ADFを使用していないときは、無効です。

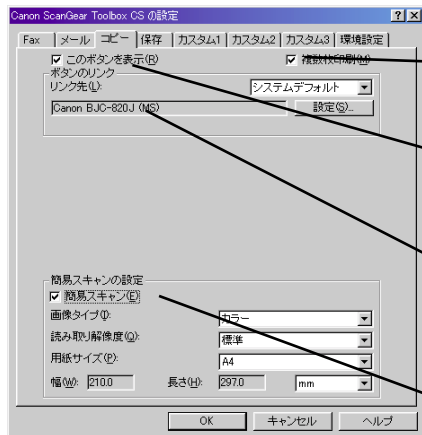
画像ファイルの保存  
スキャンによって得られたイメージをファイルにも保存しておくかどうかを設定します。チェックボックスをチェックして、保存に設定すると、そのファイルを保存しておくフォルダ、ファイル名の付け方(元になる名前とその後ろに付ける番号の振り方)、ファイルの種類も設定します。

[Alt]キーと[M]キーでこのダイアログを表示します。

簡易スキャンの設定  
簡易スキャンのオン/オフと、簡易スキャンがオンの場合に有効な設定(画像タイプ、読み取り解像度、用紙(原稿)サイズ)を、あらかじめ登録されたものから選択して設定します。「ScanGear Toolbox CS の設定項目 / 内容の一覧」を参照してください。なお、用紙サイズはカスタム設定も行えます。



## コピーの設定タブ



[Alt]キーと[C]キーでこのダイアログを表示します。

### 複数枚コピー

このチェックボックスをチェックすると、コピーの実行時にコピー枚数が指定できるようになります。

### このボタンを表示

このチェックボックスをチェックすると、ScanGear Toolbox CSツールバーに機能のボタンが表示され、その機能が使用できるようになります。

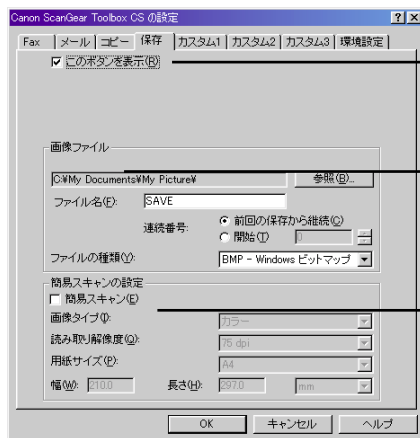
### リンク先

使用するプリンタドライバを登録しておきます。[システムデフォルト]が選択されているときは、「通常使うプリンタに設定」されているドライバに出力されます。

### 簡易スキャンの設定

簡易スキャンのオン/オフと、簡易スキャンがオンの場合に有効な設定(画像タイプ、読み取り解像度、用紙(原稿)サイズ)を、あらかじめ登録されたものから選択して設定します(「ScanGear Toolbox CSの設定項目/内容の一覧」を参照してください)。なお、用紙サイズはカスタム設定も行えます。

## 保存の設定タブ



このボタンを表示

このチェックボックスをチェックすると、ScanGear Toolbox CSツールバーに機能のボタンが表示され、その機能が使用できるようになります。

画像ファイルの保存

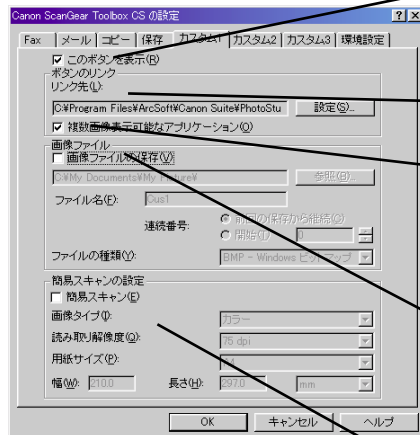
スキャンによって得られたイメージの保存方法(ファイル名を保存しておくフォルダ、ファイル名の付け方(元になる名前とその後ろに付ける番号の振り方)、ファイルの種類)を設定します。

簡易スキャンの設定

簡易スキャンのオン/オフと、簡易スキャンがオンの場合に有効な設定(画像タイプ、読み取り解像度、用紙(原稿)サイズ)を、あらかじめ登録されたものから選択して設定します(「ScanGear Toolbox CSの設定項目/内容の一覧」を参照してください)。なお、用紙サイズはカスタム設定も行えます。

[Alt]キーと[S]キーでこのダイアログを表示します。

## カスタム 1 ~ 3 の設定タブ



このボタンを表示  
このチェックボックスをチェックすると、ScanGear Toolbox CS ツールバーに機能のボタンが表示され、その機能が使用できるようになります。

リンク先  
使用するアプリケーションを登録しておきます。

複数画像表示可能なアプリケーション  
設定したアプリケーションが複数の画像を開くことができる場合は、このチェックボックスをチェックします。ADF を使用しているとき、複数の画像を一括してアプリケーションで開きます。ADF を使用していないときは、無効です。

画像ファイルの保存  
スキャンによって得られたイメージをファイルにも保存しておくかどうかを設定します。チェックボックスをチェックして、保存に設定すると、そのファイルを保存しておくフォルダ、ファイル名の付け方(元になる名前とその後ろに付ける番号の振り方)を設定します。

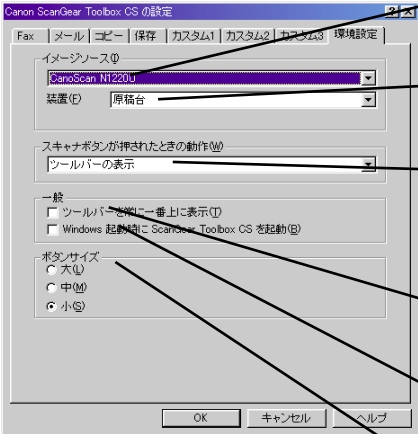
[ Alt ] キーと [ 1 ] キーでカスタム 1、  
[ Alt ] キーと [ 2 ] キーでカスタム 2、  
[ Alt ] キーと [ 3 ] キーでカスタム 3  
のダイアログを表示します。

簡易スキャンの設定  
簡易スキャンのオン/オフと、簡易スキャンがオンの場合に有効な設定(画像タイプ、読み取り解像度、用紙(原稿)サイズ)を、あらかじめ登録されたものから選択して設定します(「ScanGear Toolbox CS の設定項目 / 内容の一覧」を参照してください)。なお、用紙サイズはカスタム設定も行えます。

OCRアプリケーションを登録しておくときに、そのアプリケーションがカラーデータをサポートしていないときは、「簡易スキャンの設定」の「画像タイプ」を「白黒」に設定します。

## 環境設定タブでの初期設定

環境設定タブでは、ScanGear Toolbox CSの操作全般に渡る設定を行います。  
ここでの設定は、すべてのタブ（ボタン）で有効になります。



The screenshot shows the '環境設定' (Environment Settings) tab of the 'Canon ScanGear Toolbox CS の設定' dialog. The window title is 'Canon ScanGear Toolbox CS の設定'. The tabs at the top are 'Fax', 'メール', 'コピー', '保存', 'カスタム1', 'カスタム2', 'カスタム3', and '環境設定'. The '環境設定' tab is active. The settings are as follows:

- イメージソースID:** A dropdown menu showing 'CanoScan N1220u'.
- 装置 (E):** A dropdown menu showing '原稿台'.
- スキャナボタンが押されたときの動作 (M):** A dropdown menu showing 'ツールバーの表示'.
- 一般:** Two checkboxes: 'ツールバーを常に一番上に表示 (I)' (unchecked) and 'Windows 起動時に ScanGear Toolbox CS を起動 (E)' (unchecked).
- ボタンサイズ:** Three radio buttons: '大 (L)' (selected), '中 (M)' (unchecked), and '小 (S)' (unchecked).

Annotations with arrows point from the text on the right to these specific settings in the dialog box.

**イメージソース**  
複数のスキャナを使い分けたいような場合、使用するスキャナの種類を選択します。

**装置**  
スキャナにオプションの自動原稿送り装置 (ADF) が取り付けられているとき、使用する装置を選択します。

**スキャナボタンが押されたときの動作**  
スキャナのスタートボタンでの起動項目を次から設定します。(スタートボタン付きのスキャナでのみ有効)  
ツールバーの表示 / ファックス / メール / コピー / 保存 / カスタム 1 ( / 2 / 3 )

**ツールバーを一番上に表示する**  
ScanGear Toolbox CS ツールバーを一番手前に表示するかどうかを設定します。

**Windows 起動時に ScanGear Toolbox CS を起動**  
Windows 起動時に ScanGear Toolbox CS を起動するかどうかを設定します。

**ボタンサイズ**  
ScanGear Toolbox CS ツールバーに表示されるボタンのサイズ (大、中または小) を設定します。

[ Alt ] キーと [ T ] キーでこのダイアログを表示します。

## フィルムアダプタユニット使用時の設定

環境設定での「装置」では、フィルムアダプタユニットを設定できません。ScanGear Toolbox CS でフィルムアダプタユニットを使用するときは、次のようにします。

1. 「環境設定タブ」の「装置」の設定を「原稿台」にします。
2. 「簡易スキャン」のチェックボックスのチェックをはずし、簡易スキャンをオフにします。
3. ScanGear Toolbox CS を起動して、コピーや登録したアプリケーションのアイコンをクリックすると、TWAIN ドライバの画面が表示されます。  
また、「スキャナボタンが押されたときの動作」に「ツールバーの表示」以外が設定されているときに、スキャナ前面のスタートボタンを押しても、TWAIN ドライバの画面が表示されます。
4. TWAIN ドライバで、イメージソースにフィルムアダプタユニットを設定します。ScanGear CS では、基本モードでも拡張モードでも設定できます。拡張モードの場合は、「スキャナシート」(スキャナの機種名が書かれたタブをクリックすると表示されます) でイメージソースの設定ができます。
5. TWAIN ドライバを使って、プレビューやスキャンを実行します。

# ScanGear Toolbox CSを使用する

ScanGear Toolbox CS の各機能は簡単に使用できます。ScanGear Toolbox CS ツールバーから希望する機能を選択してクリックするか、画面右下のショートカットボタンからポップアップメニューを開いて、希望する機能を選択するだけです。

ScanGear Toolbox CSの終了は、ショートカットボタンのポップアップメニューからしか行えません。

スキャンが実行され、登録されているドライバやアプリケーションへの引き渡しが行われます。このとき、各設定タブでの[簡易スキャン]の設定により、ScanGear CS や ScanCraft CS などの TWAIN ドライバを途中で呼び出して、プレビューや調整を行うことができます。

## [簡易スキャン]がオンの場合

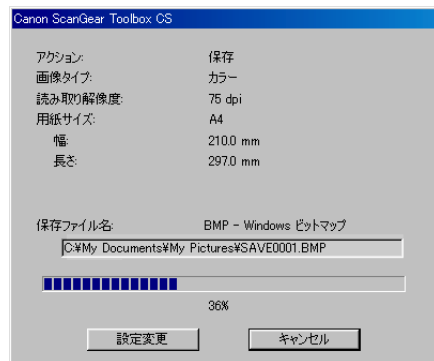
TWAIN ドライバを呼び出さず、直接ドライバやアプリケーションを起動します。各機能のボタンをクリックすると、すぐに画像のスキャンが開始され、進行状況ダイアログが表示され、スキャンの完了後、その機能の実行に移ります。

## 進行状況ダイアログ

スキャンの進行状況が表示されます。  
[キャンセル]をクリックすると、スキャンを中止し、機能の実行を取り消します。

[設定変更]をクリックすると、スキャンを中止し、設定ダイアログを表示します。

中止したスキャンデータは保存されません。



## [簡易スキャン]がオフの場合

TWAINドライバを呼び出し、プレビューや調整を行うことができます。TWAINドライバでスキャンすると、ドライバやアプリケーションが起動され、画像が引き渡されます。

## ファックス送信の動作

[簡易スキャン] がオンの場合

1. [ファックス] ボタンをクリックします。画像がスキャンされ、進行状況ダイアログが表示されます。
2. スキャンされた画像は選択されているファックスドライバに送信されます。

[簡易スキャン] がオフの場合

1. [ファックス] ボタンをクリックします。TWAINドライバのメインウィンドウが表示されます。
2. **プレビュー** をクリックし、画像をプレビューして、必要な変更を行います。
3. **スキャン** をクリックします。画像はファックスドライバに送信され、送信準備が整います。

## メール送信の動作

[簡易スキャン] がオンの場合

1. [メール] ボタンをクリックします。画像がスキャンされ、進行状況ダイアログが表示されます。



2. 画像のスキャンが完了すると、スキャンされた画像がメールアプリケーションに添付された状態で、新しいメッセージウィンドウに表示されます。この状態でアドレスを入力して送信できます。

### [簡易スキャン] がオフの場合

1. [メール] ボタンをクリックします。TWAINドライバのメインウィンドウが表示されます。
2. **プレビュー** をクリックして、画像をプレビューし、必要な変更を行います。
3. **スキャン** をクリックします。画像のスキャンが完了すると、スキャンされた画像がメールアプリケーションに添付された状態で、新しいメッセージウィンドウに表示されます。この状態でアドレスを入力して送信できます。

## コピーの動作

### [簡易スキャン] がオンの場合

1. [コピー] ボタンをクリックします。[複数枚印刷]がオンになっていると、次のダイアログが表示されます。印刷枚数を入力して、[OK]ボタンをクリックします。画像がスキャンされ、進行状況ダイアログが表示されます。



2. スキャン画像が印刷されます。

### [簡易スキャン] がオフの場合

1. [コピー] ボタンをクリックします。[複数枚印刷]がオンになっていると、次のダイアログが表示されます。印刷枚数を入力して、[OK]ボタンをクリックします。



TWAIN ドライバのメインウィンドウが表示されます。

2. **プレビュー** をクリックし、画像をプレビューして、必要な変更を行います。
3. **スキャン** をクリックします。画像が印刷されます。

## 保存の動作

### [簡易スキャン] がオンの場合

1. [保存] ボタンをクリックします。画像がスキャンされ、進行状況ダイアログが表示されます。
2. 読み込まれた画像がファイルに保存されます。ファイル名は環境設定タブでの設定にしたがいます。

### [簡易スキャン] がオフの場合

1. [保存] ボタンをクリックします。TWAINドライバのメインウィンドウが表示されます。
2. **プレビュー** をクリックして、画像をプレビューし、必要な変更を行います。
3. **スキャン** をクリックします。画像のスキャンが完了すると、スキャンされた画像がファイルに保存されます。

## カスタム 1 ~ 3 の動作

### [簡易スキャン] がオンの場合

1. [カスタム 1(2、3)] ボタンをクリックします。画像がスキャンされ、進行状況ダイアログが表示されます。

2. 画像のスキャンが完了すると、[カスタム] に指定しているアプリケーションが表示され、アプリケーションに画像が引き渡されます。

### [簡易スキャン] がオフの場合

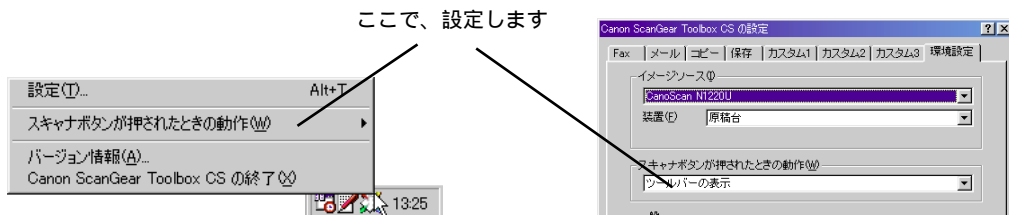
1. [カスタム1(2、3)] ボタンをクリックします。TWAINドライバのメインウィンドウが表示されます。
2. **プレビュー** をクリックし、画像をプレビューして、必要な変更を行います。
3. **スキャン** をクリックします。[カスタム1(2、3)] ボタンに設定されているアプリケーションが起動され、スキャンされた画像が引き渡されます。

## ツールバーを表示せずに ScanGear Toolbox CS を使うには

ツールバーを表示せずに、スキャナ前面のスタートボタンを押すだけで、即座にコピーやファックスなどの機能を起動するように、ScanGear Toolbox CS を設定することができます。

スタートボタンのないタイプのスキャナでは、ここで説明している機能は使用できません。

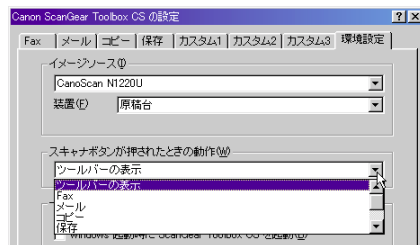
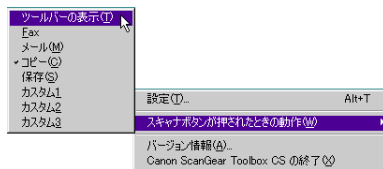
ショートカットボタンの右クリックで表示されるポップアップメニューでの「スキャナボタンが押されたときの動作」または、環境設定タブでの「スキャナボタンが押されたときの動作」で、スキャナのスタートボタンで、どの機能が起動されるかの設定を行います。



ツールバーの表示 / ファックス / メール / コピー / 保存 / カスタム 1 ( / 2 / 3 ) から選択できます。

ツールバーの表示が設定されているときは、スタートボタンを押したときに、ツールバーが表示されます。

それ以外が設定されているときは、その設定されている機能が、スタートボタンを押したときに、即座に起動します。



## ScanGear Toolbox CSの設定項目 / 内容の一覧

	ファックス	メール
画質（解像度）	標準 100 dpi ファイン 200 dpi	75 / 100 / 150 / 180 / 200 / 300 / 360 / 400 / 600 / 720 / 1200 dpi
画像の種類	カラー グレースケール 白黒	24 ビット 8 ビット 1 ビット スレッシュホールド 128
用紙サイズ	A4 / B5 / レター	A4 / A5縦 / A5横 / B5 / レター / エグゼクティブ / ステートメント縦 / ステートメント横 / 名刺 / カスタム
出力ファイル形式		Windows ビットマップ (*.bmp) JPEG ファイル(*.jpg) PC ペイントブラシ (*.pcx) PNGファイル (*.png) TIFFファイル (*.tif)
スキャン範囲の単位	ミリ / インチ	ミリ / インチ / ピクセル

	コピー	保存 / カスタム 1 ~ 3
画質 (解像度)	ドラフト(カラー75、白黒・グレースケール150) / 標準(同150、300) / 高画質(同300、600) / 超高画質(同600、1200) dpi	75 / 100 / 150 / 180 / 200 / 300 / 360 / 400 / 600 / 720 / 1200 dpi
画像の種類	カラー グレースケール 白黒	24 ビット 8 ビット 1 ビット スレッシュホールド 128
用紙サイズ	A4 / A5縦 / A5横 / B5 / レター / エグゼクティブ / ステートメント縦 / ステートメント横 / 名刺 / カスタム	
出力ファイル形式		Windows ビットマップ (*.bmp) JPEG ファイル(*.jpg) PC ペイントブラシ (*.pcx) PNGファイル (*.png) TIFFファイル (*.tif)
スキャン範囲の単位	ミリ / インチ	ミリ / インチ / ピクセル



## 付録 スキャナのスタートボタンを設定するには

ここでの説明は、スタートボタン付きのスキャナを、Windows 98 および Windows 2000 Professional で使用している場合にだけ有効です。

Windows に WDM/STI 対応の TWAIN ドライバをインストールすると、[コントロールパネル] に [スキャナとカメラ] のアイコンが表示されます (Windows 2000 Professional ではいつも表示されています)。

このアイコンで、スタートボタンで即座に起動するアプリケーションを設定します。ScanGear Toolbox CS 以外のものも指定することができます。

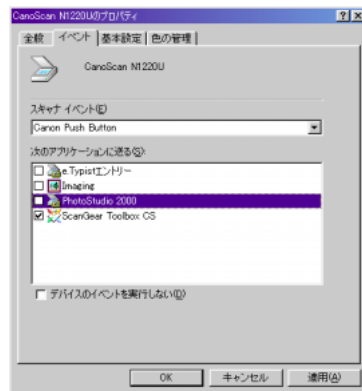
1. [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[スキャナとカメラ]を開きます。



スキャナとカメラ

2. [デバイス] タブの一覧から使用するキヤノンスキャナを選び、[プロパティ] をクリックします。

3. [イベント]タブを開きます。
4. [スキャナイベント]に[Canon Push Button]が設定されていることを確認して、[次のアプリケーションに送る]で、スタートボタンで起動させたいソフトウェアのみをチェックします。  
ScanGear Toolbox CS がインストールされていると、ここに、ScanGear Toolbox CS と表示されます。



5. コントロールパネルを閉じます。

# 索引

## 【アルファベット】

MAPI.....	13
OCR アプリケーション .....	19
ScanGear Toolbox CS の使用 .....	22

## 【日本語】

アンインストール(削除).....	7
インストール.....	5
カスタム 1 ~ 3 の設定タブ .....	19
カスタム 1 ~ 3 の動作 .....	27
簡易スキャン .....	22
環境設定タブ .....	20
起動 .....	8
コピーの設定タブ .....	17
コピーの動作 .....	25
終了 .....	11
ショートカットボタンの利用 .....	10
初期設定.....	20

進行状況ダイアログ .....	23
スタートボタンからの起動 .....	8
スタートボタンの設定 .....	33
設定項目 / 内容の一覧 .....	31
ツールバー .....	9,12
ツールバーの表示なしに機能を使う .....	29
動作環境 .....	5
ファックス送信の設定タブ .....	15
ファックス送信の動作 .....	24
保存の設定タブ .....	18
保存の動作 .....	27
マニュアルでの起動 .....	8
メール送信の設定タブ .....	16
メール送信の動作 .....	24
リンクできるドライバとアプリケーション..	13



I-OJ-017A

Copyright © 2000 CANON INC.

All Rights Reserved

